

社会資本総合整備計画 事後評価シート

太田駅南口地区における民間活力を活かした都市機能の更新

平成 3 1 年 3 月

群馬県 太 田 市

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成31年3月

計画の名称	太田駅南口地区における民間活力を活かした都市機能の更新								重点配分対象の該当	○				
計画の期間	平成26年度 ～ 平成28年度（3年間）				交付対象	太田市								
計画の目標	多くの建築物が築後40年余りを経過し、耐震性など防災面での不安を抱えるとともに、都市機能においても社会環境変化に対応できず疲弊した状況にある市の中心的役割を果たしてきた太田駅南口地区において、民間活力を活かした市街地再開発事業等の実施を契機として『まちの顔』としての再整備を図り、中心市街地としての良好な都市景観の創出と地域の活性化を目標とする。													
計画の成果目標（定量的指標）	・太田駅南口地区を含む行政区人口（飯田町）における居住人口を1,684人（H26.1）から1,800人へ増加させる。 ・市民満足度アンケート（都市計画とまちの景観）の地域（九合地区）における数値（満足度）を太田市の全体値（項目毎平均点）以上とする。													
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値		備考			
									当初現況値 (H26.1)	中間目標値		最終目標値 (H29末)		
	住民基本台帳をもとに居住人口を調査する。								1,684	—	1,800	※1 H25.8公表 ※2 数値は、暫定値としてH29.8に公表される結果をもとに判定する。 ※3 H29.8公表太田市全体値（項目毎平均点）		
	「太田市の取組に対する満足度と重要度に関するアンケート 問17 都市計画とまちの景観」における九合地区の数値（満足度） 参考）H25 九合地区：3.475 太田市全体値（項目毎平均点）：3.641								3.475 ※1	—	3.700 ※2 3.906 ※3			
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,972百万円	A	2,971.5百万円	B		C	0.5百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.02%				
事後評価														
○事後評価の実施体制、実施時期														
事後評価の実施体制					事後評価の実施時期									
太田市					平成31年3月									
					公表の方法									
					太田市ホームページにて公表									
1. 交付対象事業の進捗状況														
交付対象事業														
A1 基幹事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）		全体事業費 (百万円)	備考		
									H26	H27			H28	H29
1-A-1	住宅	一般	太田市	間接	個人施行者	太田駅南口第二地区第一種市街地再開発事業	敷地の高度化・共同化 A=0.8ha	太田市					2,971.5	
合計											2,971.5			
B 関連社会資本整備事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）		全体事業費 (百万円)	備考		
									H26	H27			H28	H29
合計														
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考			
C 効果促進事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）		全体事業費 (百万円)	備考		
									H26	H27			H28	H29
1-C-1	活動支援	一般	太田市	間接	市街地総合再生計画区域内権利者	市街地再開発事業等検討支援	ワークショップ・調査等	太田市					0.5	
合計														
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考			
1-C-1	太田駅南口地区の関係権利者に対する意識喚起や権利者間の合意形成が図られるとともに、地区内の都市機能の更新が促進される。													

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・住環境の向上により、行政区の居住人口の増加を目標とした。達成には至らなかったものの、居住人口の減少が続いていた地区において、再開発後は居住人口が維持されており、一定の効果が見られた。 ・市民満足度アンケートの数値（満足度）の増加を目標とした。数値は目標値を超えており、再開発事業が目に見えて進捗、整備され、市民満足度の向上に寄与した。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	行政区の居住人口の増加	最終目標値	1,800 人	目標値と実績値に差が出た要因	1 地区のみの再開発事業であったため、地域価値の向上という点において効果が限定的であったことから、目標に達しなかった。
		最終実績値	1,684 人		
	市民満足度アンケートの数値（満足度）の増加	最終目標値	3.906	目標値と実績値に差が出た要因	景観への不満、治安への不安が減少したことから満足度が向上した。
		最終実績値	4.098		
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）		市街地再開発事業については、快適な都市環境の整備や商業、業務及び居住施設等の集積による都市機能の更新などにより、中心市街地の満足度の上昇、人口増加（まちなか居住の推進）のほか、以下の効果を生み出している。 ○太田駅南口 路線価 79（H25）→94（H29）			
3. 特記事項（今後の方針等）					
・本整備計画において、太田駅南口第二地区（東街区・西街区）の市街地再開発事業が完了し、これらの事業により上記の効果を生み出している。 ・今後も引き続き、市街地再開発事業を推進することにより、中心市街地の人口増加など更なる効果が期待できることから、継続してこれらの事業に取り組んでいく。 （「太田駅南口地区市街地総合再生計画」では、太田駅南口駅前広場整備事業及び太田駅南口第二地区市街地再開発事業の波及効果として、周辺地区における再開発事業等が連鎖的、継続的に実施されることを期待している。） ・太田市の核となる太田駅周辺において、立地に相応しい都市機能施設等の誘導を図ることで居住環境を整え、活気のあるまちづくりを目指し、居住の誘導を図るとともに、土地の健全な高度利用や都市機能の更新を図っていく。					

計画の名称	太田駅南口地区における民間活力を活かした都市機能の更新		
計画の期間	平成26年度 ～ 平成28年度 （3年間）	交付対象	太田市

